

事業の概要

コンテナ船の大型化や船社間の連携による基幹航路の再編等、海運・港湾を取り巻く情勢が変化する中、基幹航路に就航する大型船の入港や、増加するコンテナ貨物の取扱いに適切に対応し、我が国に寄港する国際基幹航路の維持・拡大を図るため、横浜港においてコンテナターミナルの再編整備を進めます。

令和6年度予定

- 本牧ふ頭地区D5岸壁(水深16m) および荷さばき地の本体工、上部工、舗装工等を実施する予定です。
- 新本牧地区岸壁(水深18m～)、護岸(防波)および荷さばき地の地盤改良工、基礎工、本体工等を実施する予定です。

事業の効果

- コンテナ貨物の増加とコンテナ船の大型化に適切に対応することにより、海上輸送コストの削減等が可能となります。
- アライアンス拠点港としての利便性を高め、北米・欧州基幹航路の維持・拡大を図ることにより、物流効率化による我が国産業の国際競争力強化に寄与します。
- 耐震岸壁の整備により、震災時においても物流機能が維持されることで、我が国の産業活動と市民生活の安全・安心を確保します。

【位置図】

